

岡元春穂

カラオケから見る現代人のコミュニケーションと利用目的の変化

要旨

本研究は、ひとりカラオケに関する文献調査やアンケート調査、先行研究を通して、カラオケの歴史や、ひとりカラオケに求められているストレスの解消方法、ひとりカラオケの役割などについて検討を行ったものである。

レジャーには①疲労からの回復、②ストレスの解消、③人間的な連帯の増進、④自己開発・自己実現、という4つの機能がある。しかし、近年社会に広まりつつあるソロ活においては、社会的な連帯の増進という機能は果たすことができない。それにも関わらず、ソロ活が社会に広まった要因を調査したものである。調査にあたり、ソロ活の代表例としてひとりカラオケを取り上げた。

調査の結果から、レジャーの機能である疲労からの回復、ストレス解消、自己開発・自己実現がより重視されるようになったことや、社会の個人化が進んだことが要因として考えられる。